

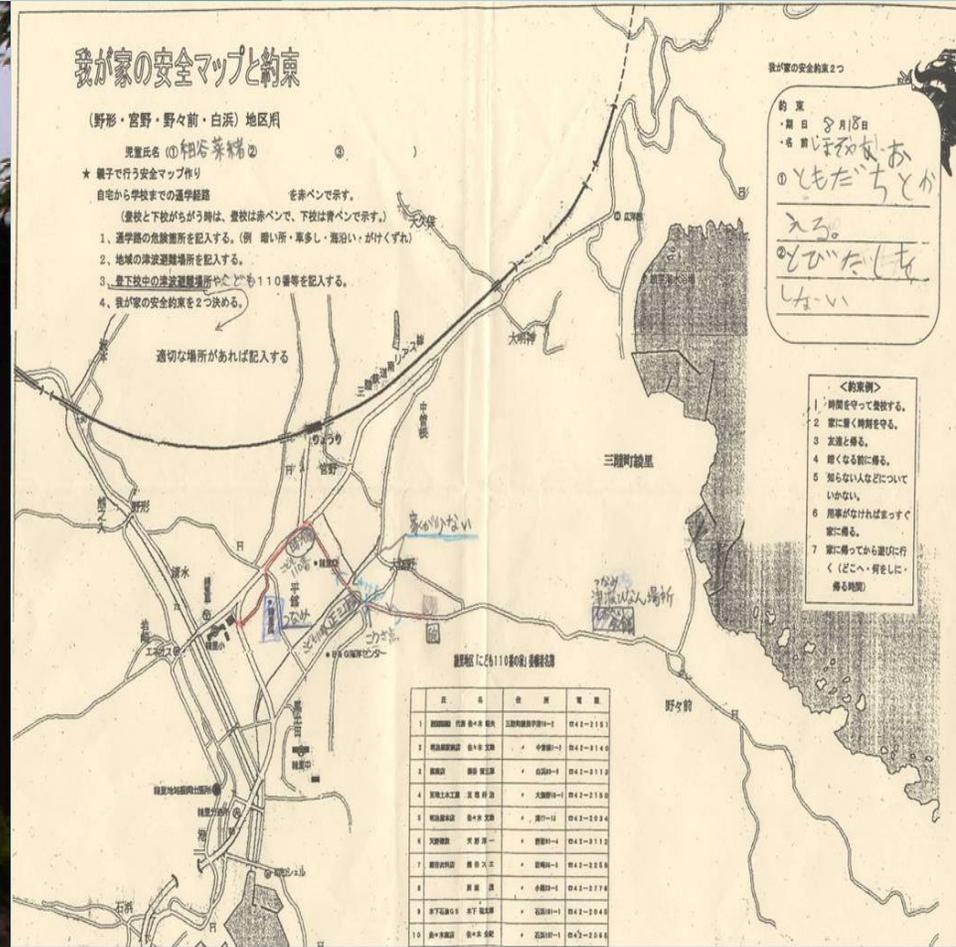
暴れ狂った海 岩手県大船渡市立綾里小学校

本校は、リアス式海岸で有名な岩手県大船渡市の北側に位置する漁業の町である。明治29年と昭和8年の三陸大津波で壊滅的な被害を受けた地区としても有名で、最大波高38, 2mを記録している。

地震や津波に対する関心を深めると共に、規律を保ち敏速確実に行動し、生命の安全を守ることを目的とし、さらに地域住民に啓発する態度を育てる。

- 1、津波防災看板の設置(体育館横と三陸鉄道綾里駅前)
- 2、演劇「暴れ狂った海」の上演(実話と「津波の歌」)
- 3、津波の被害状況資料の全戸配布(6月と12月の2回)
- 4、我が家の安全マップ作成(保護者と共に家庭で作成)
- 5、演劇の発表をDVD化し、子供達や防災関係者に配布活用。

津波防災看板と我が家の安全マップ



体育館横と駅前に立てた防災看板

個人毎に家庭で作成

津波の劇 「本番と練習風景」



昨年度は祖父の実話上演
今年度は「津波の歌」を劇
の最後に披露

今年度は子供達の創作劇
実話をもとに脚本作成

津波の被害状況資料 「全戸配布」

暴れ狂った海 「災害は忘れた頃にやってくる」

岩手県	死者・不明	負傷者	流失家屋	倒壊家屋	浸水家屋	船舶流失破損
	18,158	2,943	4,801	726	1,175	5,456
岩手県	被災前人口	被災前戸数	被災前人口	被災前戸数		
綾里村	2,251	1,269	57	367		
田浜	421	336	15	64		
石浜	187	146	9	28		
港	607	374	9	118		
岩崎	242	124	9	46		
野々前	257	32	0	34		
白浜	236	175	6	36		
砂子浜	144	18	0	18		
小石浜	157	64	9	23		

岩手県	死者・不明	負傷者	流失家屋	倒壊家屋	浸水家屋	船舶流失破損
	2,713	823	2,914	1,337	2,259	5,860
岩手県	被災前人口	被災前戸数	被災前人口	被災前戸数		
綾里村	2,773	180	18	432		
田浜	332	1	0	49		
石浜	320	9	6	47		
港	705	91	1	117		
岩崎	376	1	0	63		
野々前	368	1	0	64		
白浜	312	66	11	42		
砂子浜	157	2	0	21		
小石浜	203	9	0	29		

この資料は、三陸町史第4巻「津波編」によるものです。なお、被害のなかった宮野、野形、小路は、被災前人口と被災前戸数に加えられていません。

お願い 津波の恐ろしさを語り合い、高台に避難することを後世に伝えてください。

平成19年6月 大船渡市立綾里小学校

地区毎の被害状況資料

暴れ狂った海 「災害は忘れた頃にやってくる」 No.2

発生日月	波源(震央)	マグニチュード	被害範囲		死者数(記事)
			地震	津波	
869年7月13日(貞観11年)	三陸はるか沖	8.6	青森	青森から宮城	溺死約1,000名
1611年12月2日(慶長16年)	三陸はるか沖	8.1	福島	北海道、岩手から福島	伊達領内水死1,783名、他水死数千名
1616年9月9日(元和2年)	宮城県沖	7.0	宮城	宮城	
1677年4月13日(延宝5年)	青森県東方沖	8.1	青森、岩手	青森、岩手	
1763年1月29日(宝暦12年)	青森県東方沖	8.0	青森	青森、岩手	
1763年3月15日(宝暦13年)	青森県東方沖	7.5	青森	青森	人馬の流失あり
1793年2月17日(寛政5年)	三陸はるか沖	8.1	岩手、宮城	青森から宮城	圧死、水死多数
1835年7月20日(天保6年)	宮城県沖	7.4	宮城	岩手、宮城	石巻、死者数少ない
1856年8月23日(安政3年)	青森県東方沖	8.0	青森	青森、岩手	溺死26名
1861年10月21日(文久1年)	宮城県沖	7.4	宮城	宮城	人畜の死傷があった
1896年6月15日(明治29年)	三陸はるか沖	6.8	北海道、青森	北海道、青森から福島	死者22,000名
1897年2月20日(明治30年)	宮城県沖	7.4	岩手、宮城	宮城	
1897年8月5日(明治30年)	三陸はるか沖	7.7	青森、岩手、秋田	岩手	
1901年8月9日(明治34年)	青森県東方沖	7.2	青森、岩手、秋田		
1901年8月10日(明治34年)	青森県東方沖	7.4	青森、岩手、秋田		
1915年11月1日(大正4年)	宮城県沖	7.5	宮城		
1933年3月3日(昭和8年)	三陸はるか沖	8.1	岩手	北海道、青森から宮城	死者・行方不明3,008名
1936年11月3日(昭和11年)	宮城県沖	7.5	宮城		
1960年3月21日(昭和35年)	三陸はるか沖	7.2	青森、岩手		
1968年5月16日(昭和43年)	青森県東方沖	7.9	北海道、青森	北海道、青森から宮城	死者52名
1978年6月12日(昭和53年)	宮城県沖	7.4	宮城		死者28名

この資料は三陸町史第4巻「津波編」によるものです。(三陸沿岸以外にもチリ地震津波や日本海西部地震などもあり、多くの犠牲者を出しています。また、大船渡市の広報によると、平成5年以降津波警報や注意報が20回以上も発令されています。)

お願い 津波の恐ろしさを語り合い、高台に避難することを後世に伝えてください。

平成19年12月 大船渡市立綾里小学校

三陸沿岸を襲った津波の歴史

演劇「暴れ狂った海」の主題歌

- 1 二人で買い物に 行ったね お母さん
家族と一緒に 楽しく 遊んだね
でももう戻らない あの日は 帰らない
みんな津波のせい お母さん 返して
- 2 海へ魚釣りに 行ったね お父さん
いろんな魚釣れ うれしい 思い出が
でももう戻らない あの日は 帰らない
みんな津波のせい お父さん 返して
- 3 兄ちゃん姉ちゃん ありがと みんなだよ
思い出をいっぱい くれたね 生きてるよ
強く生きてくよ これから 一人でも
暴れ狂った海 暴れ狂った海 何もかも 返して
- 作詞 熊谷 勵 作曲 今野百合香 編曲・伴奏 金 賢治

津波防災に取り組んでの成果と課題

- 1、子供達は演劇を通してながら、津波の恐ろしさや悲惨な生活について理解し命の大切さを学ぶと共に、高台に避難することや地域の方々に津波防災について発信することを学んだ。
- 2、保護者や地域住民は、演劇や防災看板、津波資料などの配布物を通して、風化した津波の恐ろしさ呼び戻すと共に、防災意識が高揚した。
- 3、新聞、テレビ等のマスコミが報道したことによって、県内をはじめ東北や関東の住民、アジアの大学関係者に防災意識を啓発することができた。また、防災専門家の目に留まり、いろいろな出番が増えてきて注目されるようになった。
- 4、来年度は継続して演劇を披露して防災意識の高揚を図ることは決まったが、それ以降の防災教育のあり方をどのようにすれば効果的であるかが課題である。